

学習内容報告書 フォーマット

学校名	宿毛市立咸陽小学校
授業者	段松 美保 藤原 由衣

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

ぼくらの海を ～知りたい 伝えたい～

1-2. 学年

第4学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

4年生では、「海をしる」をテーマに単元を構成した。本校の校区周辺には古くからある「藻津漁港」、平成になって完成した「宿毛新港」、地域の漁業の中心である「片島漁港」、平成になり地域の漁港の水揚げを集約するために出来た「すくも湾漁港」などがある。それぞれの港の特徴や役割を調べる活動を通し比較・整理していくことで、宿毛湾の恵みを中心に人々が港を利用し生活の糧としてきたことを子ども達と共に学習した。また、学校近くの遍路道に、海の学びを「遍路札」として掛けていくことで情報を行い、山頂から宿毛湾全体を見ることで地形や港、養殖業の全体像を理解することができた。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

探究的な見方・考え方を働かせ、宿毛湾に点在する漁港やそこにある船、水揚げされる魚などを調べる活動を通して、港の役割の重要生や水産業の価値に気付かせるとともに、歴史的遺産であるお遍路と関係づけ、情報を集めたり比較したりして考える力を育てるとともに、故郷（ここ）の海の素晴らしさに気付かせる。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

【知識・技能】私たちの生活は海と関わり合い、水産資源を上手に利用していることを理解する。

【思考・判断・表現】◆教師の支援や、地域探検を通して、見たこと聞いたこと、調べたことなど様々な情報を収集している。

◆問題状況における事実や関係を、事象を比較したり分類したりして理解し、多様な情報の中にある特徴を見つけている。

【主体的に取り組む態度】◆課題解決に向けて友だちと協働して探究活動に取り組んでいる。

◆自分と異なる意見や考えがあることを知り、探究活動に取り組もうとしている。

1-7. 単元の展開（全70時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
2	<ul style="list-style-type: none"> ○宿毛湾について知っていることを出し合う。 ○宿毛湾について調べたいことを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○できるだけたくさんの知っていることを出させるようにする。
5	<p style="text-align: center;">「ぼくらの海を 知りたい 伝えたい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○宿毛湾で捕れる魚やそれぞれの港の役割を調べる方法を話し合う。 ○1学期の単元の進め方を決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題設定を行う。 ○魚の話から港に目を向けさせる。
23	<ul style="list-style-type: none"> ○ゲストティーチャーに話を聞く。 ○聞いたことをまとめ、別の港について調べる方法を話し合う。 ○すくも湾漁港に行って、競りの様子を見学したり、捕れる魚を調べたりする。 ○見学したことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市役所から職員を招聘し、宿毛新港について整備の目的や役割、工事をしたときの様子について情報収集する。 ○すくも湾漁港を見学し、競りやブリの加工の様子から人々の働く様子やインタビューを通して思いや願いを知らせる。また、漁協の人の話からこの海の価値について実感させる。
10	<ul style="list-style-type: none"> ○調べた2つの港を比較し、それぞれの役割や共通している人々の思いを考える。 ○これまでの体験を振り返り、収集した情報をもとに、港の役割や捕れる魚について分かりやすく整理する。 ○整理したことをもとに、誰にどのような方法で伝えるか話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ベン図を用い、視覚的に学びを整理し港を比較させる。 ○情報を分析しこれまでの取り組みをまとめさせ2学期に繋げる。
10	<ul style="list-style-type: none"> ○1学期の学習を振り返り、2学期の単元の進め方を決める。 ○松尾岬について話す。 ○松尾岬やお遍路道、お遍路について調べる。 ○集めた情報を整理し、さらに情報収集する方法について話し合う。 <p>【本時】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校長先生に話を聞く。 ○ゲストティーチャーに話を聞く。 (多面的・多角的に考える。) ○聞いたことをまとめる。 ○いつ、どこで、だれに、どんな方法で伝えるの 	<ul style="list-style-type: none"> ○1学期の取り組みを想起させ、今後の探究活動について考えさせる。 ○情報発信の方法を持ちかけ、地域の遍路道と繋げるようにする。 ○情報収集には限界があるため、実際のお遍路を呼べるよう手配する。 ○遍路山から、旅の情報について収集させる。

	か話し合う。	
20	<ul style="list-style-type: none"> ○遍路札を作る。 ○松尾峠に登って札をかける。 ○しおりを作る。 ○松尾峠のお堂にしおりを置く。 ○これまでの取り組みをもとに宿毛湾の魅力をまとめる。 ○地域の人に宿毛湾のよさを知ってもらおう。 (参観日にポスターセッション等で) 	<ul style="list-style-type: none"> ○遍路札にお遍路さんに対する思いやこれまでの海の学習で調べたことをのせるようにする。 ○総合的な学習の時間発表会を通して、宿毛湾の魅力についてこれまでの取り組みを地域の人達に伝えるようにする。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

【知識及び技能】

○宿毛湾に関わる探究的な学習の過程において、宿毛湾に点在する港の役割、水産業の重要性を知るとともに、宿毛湾の豊かな恵みによって食生活が支えられていることに気付き、それらが人々の努力や工夫によるものであることに気付く。

【思考力、判断力、表現力等】

○宿毛湾の魅力について、調べ学習や体験学習を通して得た情報を比較したり分類したりして整理分析し、まとめ方を工夫して地域の人やお遍路さんなど多くの人に発信することができる。

【主体的に学びに取り組む態度】

○宿毛湾の魅力について調べたことをもとに主体的に話し合い、表現する活動を通して、故郷の海のよさに気付き、誇りや愛着をもつことができる。

本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
-------------	----------------------

<p>1. 前時までの活動を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿毛湾全体が見渡せる松尾峠について調べたい。 <p>2. 本時のめあてを確認する。</p> <p><u>松尾峠について調べたことを整理しよう。</u></p> <p>3. 調べたことを出し合う。</p> <p>【松尾峠】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県と高知県を結ぶ街道。 ・おへん路さんや多くの旅人が通っていた。 ・番所があった。 ・茶屋でおかしが売られていた。 ・1日に300人ぐらい通っていた。 ・標高300mの峠。 ・展望台から宿毛湾が見おろせる。 ・道がけわしい。 ・お堂がある。 <p>【おへん路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白い服を着ている。 ・かさをかぶったりつえを持ったりして歩く。 ・弘法大師 <p>4. さらに調べたいことを決定する。</p> <p>5. 調べる方法について話し合う。</p> <p><u>お遍路にくわしい人に話を聞いてみたい。</u></p>	<p>○宿毛湾のよさをお遍路さんに伝えると、お遍路さんもさらに県外の人へアピールしてくれるかもしれないという児童の思いを再度確認しておく。</p> <p>○個人で「松尾峠」「お遍路」の2つの項目に分類しておいたものを出し合うことで、情報を共有し全体で整理していく。</p> <p>○電子黒板で写真を提示していくことで、調べたものの具体的なイメージを一致させるようにする。</p> <p>○整理していく中で、足りない情報やわからないことなど新たな疑問を押さえていくことで、さらに情報収集したいという意欲を高めるようにする。</p> <p>■松尾峠について、集めた情報を分類しながら理解している。(発言・ワークシート)</p> <p>○お遍路さんの思いに触れるような疑問を取り上げることで、お遍路についてもっと調べたいという意欲を高めるようにする。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3. 今回の活動の自己評価

学校の目の前にある宿毛新港から、宿毛湾にある港を比較させていくことで、宿毛湾を中心とした産業、魚業などの地域の特色を知ることができた。宿毛新港について市役所の方に来ていただき説明を受けたりすくも湾漁港に見学に行き実際の水揚げや加工場を見学することで、港の役割やそこで働く人々の思いや願いを知ることにも繋がった。子供達は宿毛湾を身近な存在と捉え、自分達の暮らす地域に誇りを持つようになったと考えている。四国は88カ所の札所を巡る遍路道がある。本校の校区にも昔からの遍路道が存在し現在でも高知、愛媛をつなぐ遍路道となっている。この遍路道に札をかける活動に海の学習をのせ発信することができた。

4. 今後の課題

今年度の活動は、だいたい計画通り行うことができた。しかし、今回は遍路道を利用したが、学びの連続性という点では再検討する必要がある。その反面、計画していた食を行うことができなかったため両者を比較しながら子供達の学びにとって何が良いのかを年間計画作成の段階で再検討していく必要があると感じた。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

◆児童の思考に沿って単元を構成したため、年間計画と少し違いがある。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。